

# 外国籍の生徒に学習支援

## 浜松の学生団体 オンライン活用

外国にルーツがある子どもたちの支援活動を進める浜松市の学生団体「WISH(ウィッシュ)」は22日、北区の北星中に通う生徒を対象に、オンラインで学習支援を始めた。同校での学習支援は今回が2回目で、24日までの日程で行う。ウィッシュに所属する静岡文化芸術大と曰本大の学生6人が指導に当たる。3日間で中学生4人が参加予定。初日は、ブラジル人の

両親を持つ中3の男子生徒が校内で学習に取り組み、大学生が画面越しに理科や数学を丁寧に指導した。

男子生徒は「1対1で教えてもらえた。夏休み明けも勉強を頑張れそうだ」と話した。

外国籍の児童・生徒への学習支援は市内中心部で行われることが多い。近郊に住む子どもたちは交通手段が限られる、参加が難しいという状況に着目し、オンラインを使った支援



岩崎碧代表(20)＝静岡

オンラインで学習支援を受ける生徒＝浜松市北区の北星中(写真の一部を加工しています)

岡文化芸術大は「オンラインは学生も生徒も気軽に参加できる。不安もあつたが、実施できてよかった」と話した。